

クラスより



ひよこ組

来年度の進級に向けて、3月からりす組の部屋に移行して生活しました。今まで過ごしていたお部屋と環境が変わり、子ども達はさっそく探索活動！！目新しい物を発見すると、「〇〇ちゃん！！」と手招きをし、お友達に教えてあげて、その驚きや喜びを共感する姿も見られました。園の中で、一番小さいひよこ組さんも4月からは、1つお兄ちゃんお姉ちゃんになるのですね。この一年で友達や保育士に刺激を受けながら、本当に一人ひとりが大きく成長したと思います。これからも、ひよこ組のみんなの成長を楽しみに、見守っていきたいと思います。



<南部丘陵公園にお出掛けしたよ>

進級遠足も兼ねて、りす組さんと一緒にバスに乗って、南部丘陵公園にお出掛けしました。お天気にも恵まれて、公園に着くと子ども達は、興味深そうに動物を見ていました。「あ！先生ガーガ！！（あひる）来た！！これ！！」とあまりの嬉しさから一生懸命、言葉に出して伝えてくれる子がいたり、ベビーカーに乗っている子は、動物を見て足をバタバタと動かしたりと、一人ひとりが色々な形で喜びを表現していました。又、公園で出会った人にお辞儀をして、挨拶をする姿も見られました。こうして園から一步出て、景色や動物を見たり、地域の人に出会う体験を通して、豊かな感性が育っていけるといいなと思います。



りす組



早いもので 19 年度もおわろうとしています。子供達の一人一人の様子をみていると本当に成長したことを感じます。また、2 月半ばからうさぎ組へ移行しお部屋の雰囲気にも慣れて安心して過ごせるようになったことを感じます。また自分の遊びを見つけられるようになり、曲が流れると、2,3 人の子が CD デッキの前に椅子を持って楽しそうに聞いていたり、絵本コーナーでは友達と絵本を一緒に見たり友達同士のかかわりも増え笑顔がよくみられるようになりました。

また、それぞれに言葉の成長もみられました。また、友達の話に耳を傾けるようになり、ちょっとした会話を楽しんでいます。なんとか理解してもらおうと真剣に話している姿が見られます。小さい子でもわかってもらおうとする思いが強いことをあらためて感じました。また、大人もゆったりとした気持ちで聞いてあげることが大切だと思いました。

一年間を振り返るといろいろな思い出が浮かびます。特にバスでのお出かけ、手作りお弁当の日などはどの子も本当にうれしそうだったのが印象に残ります。このような笑顔をたくさんみられるような保育をしていけたらと思います。また、子供達と楽しく過ごせたことに感謝しています。おうちの方にもいろいろとご協力頂きありがとうございました。一年間ありがとうございました。



うさぎ組



暖かい日が続き、桜のつぼみもほころぶ頃となりました。異年齢クラスに移行してもう一ヶ月が過ぎようとしています。日々、子どもたちの成長には驚かされることばかりです。

移行して最初は緊張したり、環境の変化に不安で保育士の後を追ったり、そばから離れられず落ち着かない姿が多かった子どもたち。自分たちより大きいお兄ちゃんやお姉ちゃん達と一緒に生活する中で不安から泣きだす子、どうしていいかわからず困っている子たちを見つけると、気にかけて優しく声をかけてくれるお兄ちゃんやお姉ちゃん。そんな優しさに触れ、子どもたちも少しずつ心を開いていったように思います。

今では、子どもたちだけで自らコーナーに入り、遊びだす姿やお兄ちゃんやお姉ちゃんたちの中に入り一緒に遊びを楽しむ姿もみられます。集まりも自ら参加し話を聞けるようになったり、自分の名前を皆の前で呼ばれたときの返事も少しずつ大きくなってきています。また、月曜日の生活発表ではお兄ちゃんやお姉ちゃんたちの姿をみて「私も言える!」「頑張る!」という声子どもたちからでてきました。皆の前にでると、とても緊張してしまう子もいましたが上手に発表することが出来、皆に褒めてもらい嬉しそうな表情をみせる子どもたちでした。少し驚きもありましたが、子どもたちが自分もお兄ちゃんやお姉ちゃんになりたい!という気持ちや頑張りに私たちも成長を感じ嬉しくなりました。

これからは異年齢クラスの中で、ひとりひとりが自分たちのペースで成長していくことを期待しています。



トトロ組

3歳児

3月に入って年少の子が製作コーナーに入ってお絵かきをする姿をよく見かけるようになりました。何を書いているのか覗くと、迷路やひらがな、数字、中にはアルファベットを書いている子もいました。「どうやって覚えたの?」と聞くとたいていの子が「自分で!」と答え「ほんとに?」と聞き返してしましますが、本当に見様見真似で覚えていったようでした。年中の子からの刺激がやはり大きく、真似して書いたり「書いて〜!」と頼んだりして興味のあることはすぐに覚えてしまうようです。これからも遊びの中で楽しくいろんな知識を吸収していったほしいなと思います。



うさぎ組が移行してきてから年中に進級する意識がかなり高まり「もうすぐ年中やもん!」という言葉が聞かれるだけでなく、年上であることを意識した行動が以前にも増して見られるようになりました。給食の時間、お部屋からホールまで行くのに「一緒に行こっか!」と優しく声をかけて手をつないで連れて行ってあげたり、トレーを持って給食を運んでいる子に自然に支えるための手が出たり、「〇〇くん箸落としてしまった!」と保育士に言いに来て新しいものと交換してあげたり。小さい子に優しくしてあげたい!一つ年上だから何でもできる!という気持ちがよく表れています。見ているとすごく心が温まる光景ですと見ていたい気分になります。年中になっても人を思いやる気持ちを忘れずにいてほしいなと思います。

楽しく一年間過ごしてこれたのはおうちの方々の温かい見守りがあったからこそだと思います。これからも子どもたちが心も体も大きく成長することを祈っております。一年間本当にありがとうございました。



4歳児

3月7日に年中児みんなで卒園旅行にでかけました。

モクモクファームでは、ウシの乳搾りやポニーに乗ったり、ミニブタショーを見たりとたくさん楽しみました。初めての経験に、少しドキドキしたりワクワクしたり・・・子ども達のいろいろな表情が見られました。最後というのは、とても悲しく寂しい気持ちにもなりますが、仲間とともに良い思い出作りとなったのではないかと思います。おうちの方にはたくさんご協力していただきありがとうございました。

うさぎ組の移行が始まってから、数週間が経ちました。

そんななかで、うさぎ組の子達も少しずつ「自分の居場所」「心許せる人」を見つけているようです。それも、年中の子達が積極的に関わり優しく声をかけてくれるおかげだと思っています。今月はそういった優しさ・心温まる姿をここには書ききれないくらいたくさん見てきました。どうしても、大人は「早く馴染んでほしい」という焦りがあり、それが裏目となって悪影響になることもありますが、子ども達同士で、自然と関係を作ってしまうところは、いつも「子どもの力ってすごい!」と感心させられます。引き続き子ども達には、優しい心を持ち続けて成長していったほしいなと思います。

トトロ組年中は一番人数も多く、元気いっぱいの子ども達でした。この一年間で子ども達とたくさん笑ったり、喜んだり、時には衝突もあったり・・・いろいろなことが思い出されます。

トトロ組では今回15人の子ども達が卒園します。子ども達もお別れが近づくにつれ「お別れ嫌!」「保育園いかん!」と子ども達なりに寂しさを胸いっぱい感じているようです。お別れは寂しいけど、卒園する子ども達のこと、絶対に忘れません。

たくさんの思い出をありがとうございました。年中25人の担任になれたこと、保護者の方から一年間温かく見守っていただいた事、嬉しく思っています。

これからも子ども達の成長を見守っていきます。

ありがとうございました。

ピノキオ組

3 歳児



この一年という短い時間の中で子ども達はたくさん成長しました。トランプでも始めは枚数を減らして覚えやすいようにしていたのですが、今では54枚全部並べてできるようになってきました。一緒にするのですが大人も真剣にしなければ負けてしまうほどです。それだけ集中力、根気の面でも成長しているようです。集団遊びでも保育士が入ると長く続くようになってきました。かくれんぼをすると今までは鬼役をしてもいつの間にか鬼役の子も一緒になって隠れていたり、保育士と一緒に鬼役をしなければ進まなかったりしていたのですが、今では年少さんだけで鬼役をしても遊びが進むようになってきました。

折り紙を折るのにも「どうやってするの?」と言う事も少なく、友だちが作るのをじーと見て真似て、考えながら自分の力で作れる子も増えてきました。また小さい子に対してもおもちゃをかしてあげたり、教えてあげたり、鼻を拭いてあげたりと優しく接してくれる姿…まるで一年前の年少さんを見ているようでした。初めての環境でどうしたらいいのかわからなくて、不安で泣いていたあの頃が懐かしく思えました。これからまだまだ成長していく子どもたち。優しいお兄ちゃん、お姉ちゃんに成長していってくれるのが楽しみです。



4 歳児

3月に入り、移行もだいぶ落ち着いてきて2歳児との関わりも多く見られるようになり、クラスで一番大きいお兄ちゃんお姉ちゃんになるということを楽しみにしている反面、幼稚園に行くお友だちとの別れを悲しむ姿もありました。

2歳児との関わりの中では、おやつの時に牛乳をひっくり返してこぼしてしまった2歳児に4歳児の男の子が空っぽになったコップを見て、自分の牛乳を半分分けてあげたり、野菜が食べられなくて苦戦している子に食べさせてあげたり、「嫌いなん?残す?今度は頑張ろうね」などと優しい声を掛けたりする姿に成長を感じ、その関わりをきっかけに異年齢での友だち関係が広がっていているように思いました。今まで自分たちが大きい子たちにしてもらったことを今度は自分たちが小さい子にやってあげることで、見て、真似て、子ども関係が育って行くのだなあと思いました。

保育参加でした「よさこい」では、3・4歳児がやる姿を5歳児が何度も部屋に来て教えてくれました。どうにかして5歳児のようにかっこ良く踊りたいという3・4歳児の思いが伝わったから、自然と5歳児も自分たちの方から教えてあげたいという思いになったのだと思いました。「やりたい、真似たい」という思いに、小さい子だからできないという年齢の差はないのだなあと感じさせられました。

2~5歳児と幅広い年齢の友だちと関わった3月。4月からは保育園で一番大きい年長児です。小さい子たちに優しく、憧れる存在の年長児へと育って行って欲しいと思います。



ライオン組



桜のつぼみも膨らみ、吹く風も暖かくなって、過ごしやすくなってきました。もう季節はすっかり春です。先日、散歩に出かけたのですが、つくしや、野の花が咲いていたり、虫たちも出てきており、子どもたちも目や肌で春の訪れを感じていました。

3月になって、子どもたちの会話の中に小学校の話が出てくる事が多くなりました。「机を買ってもらった。」とか、「ランドセルは〇〇色にしたよ。」などの他に、小学校での勉強の話などもしています。そのような話をする子どもたちの顔は本当に嬉しそうです。その反面、「保育園で給食を食べるのもあと少しだね。」や、「もっと保育園で遊びたい。」などといった、卒園する事の淋しさも感じているようです。子どもたちも複雑な気持ちになっているのが感じられます。

春は出会いと別れ、期待と不安とがありますが、これからの子どもたちの輝かしい将来に、いろいろな意味で大きく成長していってくれる事を願っています。

『卒園旅行』

11日に卒園旅行で名古屋港水族館に行ってきました。数日前から楽しみに待つ子どもたちの姿がありました。水族館ではたくさんの魚や生き物を目の当たりにして、目をキラキラさせていました。特にイルカのショーとシャチのクーちゃんには子どもたちも本当に興奮していました。ライオン組全員が揃っての最後のお出掛けとなりましたが、今まで共に過ごしてきた仲間といい思い出が作れました。

『お別れパーティー』

18日に保育園でお別れパーティーがありました。歌を歌ったり、思い出を写真で振り返ったりして、在園児と卒園児がお別れ前のひと時を楽しみました。ライオン組の子どもたちも、「卒園する」という事を実感していたようでした。

『卒園式』

26日、19年度の卒園式が行われました。天候も良く暖かい日となりました。一人ひとりの姿を見ると1年間の思い出が走馬灯のように思い出されます。胸を張って立っている子どもを見て大きく成長を感じました。笑顔と涙の中、ライオン組19名が保育園を巣立っていきました。ご卒園おめでとうございます。

